

電子レンジで実験 小中学生わくわく

精華で教室 放電現象を体験



子どもたちに科学への関心を持ってもらおうと、精華町光台のけいはんなプラザラボ棟で3日、小中学生を対象に電子レンジを使った実験などをする教室が開かれた。

ラボ棟で電磁波の研究をしている企業「ミネラルライトラボ」が主催し、初めて開催した。この日は山城地域を中心に小中学生60人が集まった。教室では、同ラボの松村竹子代表

電子レンジの中で発生する放電現象を興味深そうに観察する子どもたち（精華町光台・けいはんなプラザラボ棟）

(77)の呼び掛けで集まった元大学教授や大学生ら10人が講師を務めた。

子どもたちは講師から、電子レンジが発生させる電磁波が物質を構成する分子を揺らして熱を発生させ、化学反応を速めるという説明を聞いた。この後、グループに分かれて、レンジを使って、混ぜた試薬品を加熱して発光物質を作ったり、真空管の中にプラズマと呼ばれる放電現象を発生させるなどの実験をした。

舞鶴市から参加した倉梯第2小6年堀内遼太郎君(11)は「家にある電子レンジでいろんなことができるかわかって、わくわくした」と話していた。

(山木秀二)